

第2回 神奈川県景況感調査の実施

- ◆ 公益社団法人 神奈川県観光協会（かながわDMO）では、
一般社団法人 神奈川県中小企業診断協会と協力して下記のとおり調査を実施した。

【調査概要】

■ 調査目的：県内の事業者の景況感と課題等を把握する	■ 配布件数：3,229件
■ 調査期間：2023年10月30日(月)～11月9日(木)	■ 回収率：8.8%
■ 調査対象：県内各観光協会に所属する民間事業者	■ 回収件数：283件(内、観光関連事業者は170件)
■ 調査方法：インターネット上のアンケート	

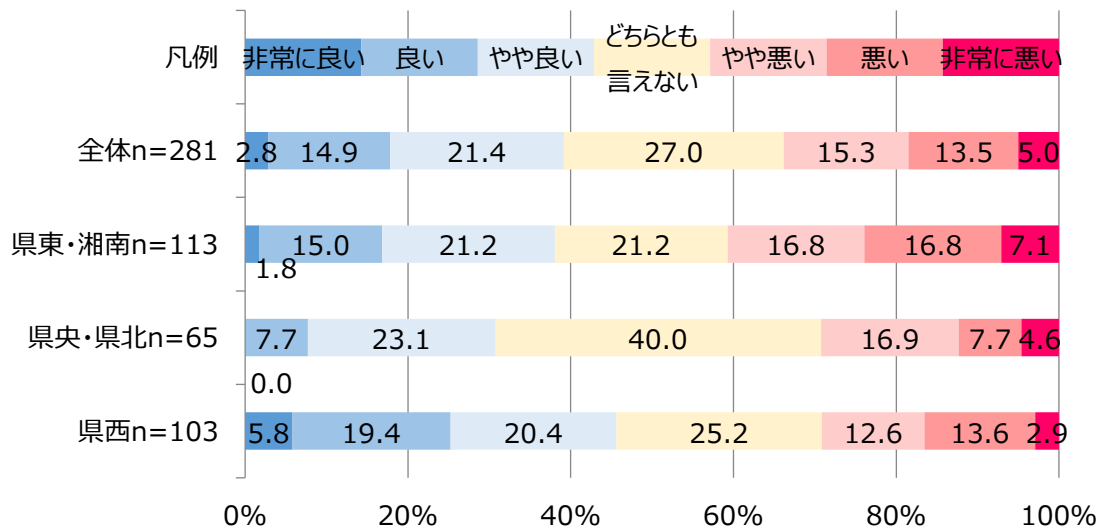
【調査結果】

- ◆ **2023年夏商戦（7～9月）の景気判断は39.1%がポジティブに判断
県西地区は引続き堅調、県東・湘南地区は前回調査よりネガティブ判断が上昇**
 - ✓ 全体の39.1%がポジティブに判断。ネガティブ計33.8%を上回るが判断は割れる。
 - ✓ 前回調査（4～6月）と比較すると、箱根・小田原を含む県西地区は引続き堅調な景気判断となり、一方、横浜・鎌倉・湘南を含む県東・湘南でのネガティブ判断が上昇している。
 - ✓ ネガティブ判断の背景には前回調査と同じく材料費や光熱費の高騰や人件費の高騰、物価高による消費抑制などが挙げられ、その他、記録的な猛暑による人出の減少・消費の減退、行動制限がなくなったことでの遠方・他県への観光客の流出、コロナ禍でのライフスタイルの変化による抑制消費傾向もマイナスに影響している。
 - ✓ ポジティブ判断の背景には、前回同様に「コロナ禍からの回復とリベンジ消費の継続」があり、他にもイベント・祭の実施、インバウンド再開などもプラスに影響した。しかし、「コロナ禍前には及ばない」との条件付きの意見は変わらず多く、依然、回復途上と言える。（※図1・2）
 - ✓ なお、調査では2024年の景気見通しも確認しているが、インバウンド拡大への期待がある一方で、材料費や光熱費の高騰や人件費の高騰、物価高による消費抑制が引き続き業績のブレーキとなることが予想され、更にそれらが加速すると言った懸念を持つ事業者も確認できる。
- ◆ **県東・湘南、県西地区では4割の事業者がオーバーツーリズムを実感
抱えるオーバーツーリズムの内容は地域の特性によって異なる**
 - ✓ 県東・県北では過半数がオーバーツーリズムの発生を感じておらず、他エリアとの状況の違いが見て取れる。一方、県東・湘南、県西では4割の事業者がオーバーツーリズムの発生を感じているが、その一方で4割は感じていない。オーバーツーリズムの発生地域であっても現時点では認識が割れていることが分かる。（※図3）
 - ✓ 各地域で発生するオーバーツーリズムを確認すると、公共交通機関の混雑、道路渋滞、民間交通の不足が問題視され、交通にまつわる事象が現時点でのメインテーマであることが分かる。更には、エリアで傾向は異なり、県西では交通の問題がより高く、他事象への反応は大きく低下する。一方の県東・湘南では交通の問題以外にも街中の歩行者の混雑、観光施設や公園などの混雑、ゴミなど街中の環境悪化、旅行者のマナーの悪さへの反応がより高い。（※図4）
 - ✓ 今後もインバウンドを含めた観光消費の拡大が期待されるが、地域特性や事情に合わせたオーバーツーリズム対策が必要であり、事業者からは「官民一体となった対応が必要」との意見が得られている。

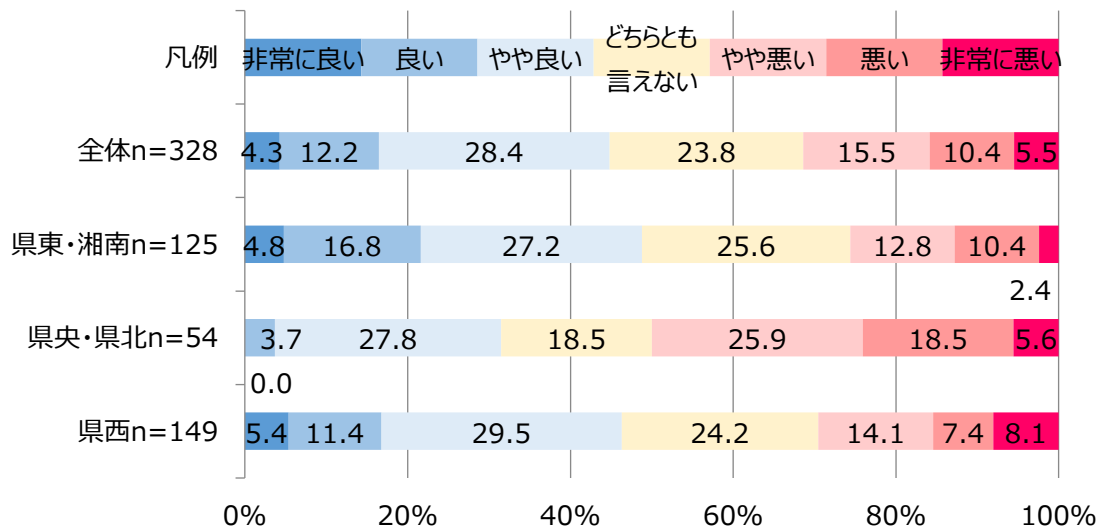
(お知らせ)

- 「一般社団法人 神奈川県中小企業診断協会」の全面協力により、県内有力観光関連事業者への直接インタビュー調査も実施しています！(※最終レポートは 24 年 1 月を予定)
- 次回の景況感調査は 2024 年1月を予定していますので、是非ご注目ください！

(図 1 : 2023 年 7~9 月のエリア別の景気判断)

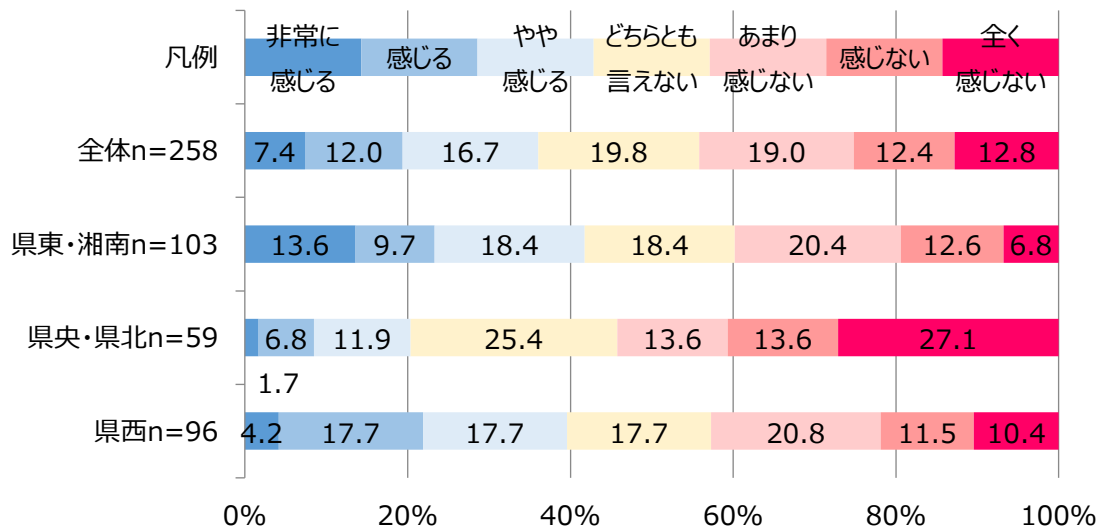


(図 2 : 2023 年 4~6 月のエリア別の景気判断) ※前回調査結果

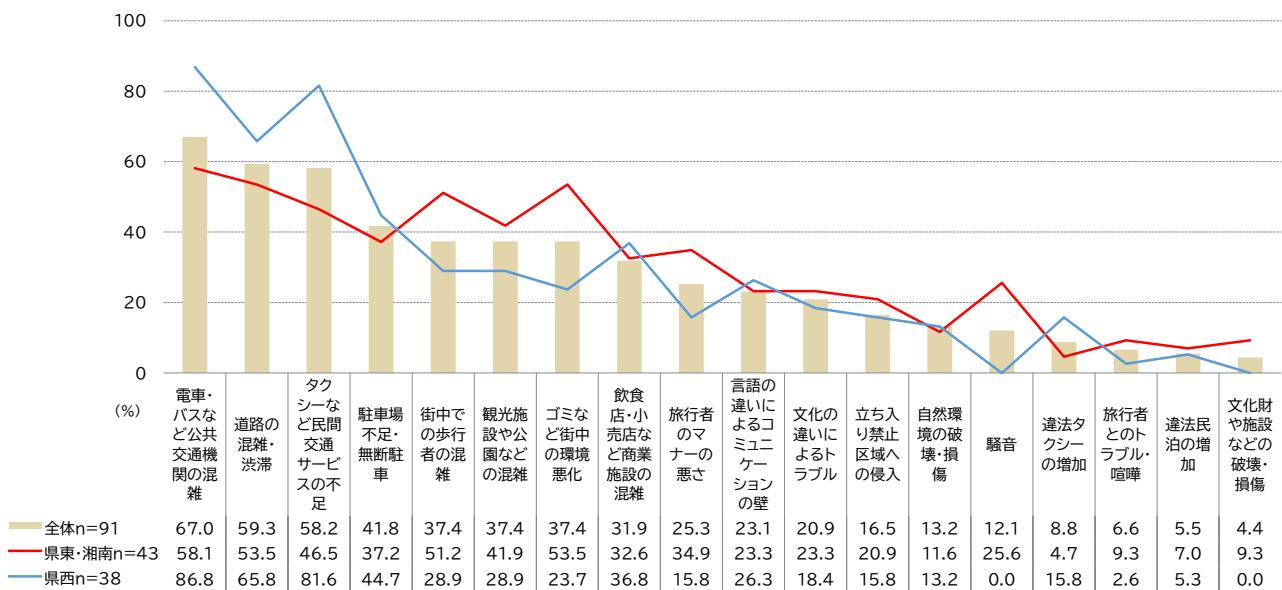


(図3：周辺地域でのオーバーツーリズムの発生状況)

※Q.貴事業所が属する地域において、「オーバーツーリズムが発生している」と感じますか？



(図4：発生しているオーバーツーリズムの内容)



【当調査に関するお問合せ】

公益社団法人 神奈川県観光協会 (かながわDMO)

横浜市中区山下町1

TEL 045-681-0007

FAX 045-681-0009

E-mail aihara@kanagawa-kankou.or.jp

担当 相原